

<ニコニコ・財団・米山委員会>

	今回		累計	
ニコニコ	27件	27,000円	240件	307,951円
財団	4件	51,500円	8件	102,500円
バネファクター	0件	0円	1件	112,000円
米山	4件	40,000円	10件	130,000円

<ロータリー財団委員会>

勝田委員長

嶋幹事→「本年で12年になります。幹事として頑張ります」。安藤亨会員→「入会祝いありがとうございます。これからもよろしく願いいたします」。鈴木文夫会員→「入会を記念して」。井上勇会員からもいただきました。

<米山奨学委員会>

阿久澤委員長

安藤亨会員→「誕生日ありがとうございます」。小島会員→「主人の誕生日に素晴らしい胡蝶蘭をありがとうございました。ホームの玄関に飾らせていただいております。皆様にめでたいていただき咲き誇っています」。中村会員→「誕生日を記念して」。井上勇会員からもいただきました。

本日のプログラム

<委員会報告>

クラブ基盤管理委員会

大西クラブ奉仕委員長

金子ガバナーの英断により、地区主催のクラブ委員長会議・セミナーのあり方が思い切って変更され、戦略、公報・公共イメージ、研修、奉仕、雑誌5つの委員長会議をクラブ基盤管理委員会。国際奉仕、職業奉仕、社会奉仕の3つの委員長会議をクラブ奉仕活動委員会としてまとめられました。



クラブ基盤管理委員会は、各クラブの管理・運営、クラブ内の充実を計る機能に関する部門を、クラブ奉仕活動部門委員会は、クラブの対外的な、ロータリー本来の活動に関する部門を、それぞれまとめて会議を持つとする組織改革と言えるものです。各クラブの人的・金銭的負担が大幅に軽減され、地区全体の合理的で効率的な運営につながるものと受け止められています。

クラブ基盤管理委員会 PART1のテーマは「クラブ基盤の企業本のあり方を検討し、それをクラブ運営に役立てよう」です。共通認識として対策を要する問題は「会員の減少傾向、財政基盤の弱体化に対する具体策は何か」です。会員増強に関して、女性と若い人をターゲットにと言われてきましたが、当クラブは20%以上で世界平均を超えています。

後半は、第3グループのテーブルで討議が行われ、各クラブの会長方針を聞き、討議のテーマはいかに魅

力あるクラブとして活性化するかという事でした。具体的な方策としては、各クラブ共に会員の増強(適正規模の維持)、日常的には丁寧な例会運営(魅力なる卓話・夜会を増やすなどの工夫)、親睦のために同好会を盛んにする、といった基本に尽きると思われました。

我々のクラブは、規模、雰囲気、年長者・ベテランと若手の指導と協力の関係といい、そうあるべき姿のロータリークラブだと思っています。この状態を持続させ、維持するにはどうすればよいのかが、クラブの課題であると思っています。

クラブ基盤管理セミナー PART2 赤本雑誌委員長

当日は、露木パストガバナーの「クラブ奉仕と公共イメージの戦略」という講演があり、退会したくないクラブ作りをテーマに、最終的には公共イメージをアップすると社会における存在感が増し、所属感が会員に増し、それが退会したくないクラブ作りに重要であろう、というお話でした。



◆第1部「クラブ奉仕と研修」

戸村地区クラブ奉仕副委員長からは「クラブの現状と今後」話があり、クラブが直面している課題として会員とクラブそれぞれの問題点を挙げられました。課題とアンケート結果から、ロータリーの強化は内部関係の強化、研修プログラムが大事であるということでした。半澤地区クラブ奉仕委員からは「クラブ研修とRLIへの取り組み」、長門地区クラブ奉仕委員からは「女性活躍の時代」として、多様性、門戸を大きく広げるべきではないかとの話がありました。

◆第2部「広報・公共イメージの向上」

高良地区広報パストガバナーからは「広報・公共イメージの向上」として、2010年に採択された3つの優先項目 1.クラブのサポートと強化 2.人道的奉仕の重点化と増加 3.公共イメージと認知度の向上(2011年より取り組み開始)の話がありました。

「2020年に向けた日本ロータリーの活動」として日本ロータリー100周年実行委員会・記念事業等委員会では、広報・公共イメージに取り組んでいるとのことでした。

今村ロータリーの友地区代表委員からは、ロータリーの友を新入会員の教材やフォーラムで話し合う題材として活用してくださいとありました。

研修では内部関係の強化をし、多様性を受け入れ、親睦と奉仕と広報・公共イメージ向上で会員増強をし、会員減・クラブ減に歯止めをかけると受け止めました。当クラブでも地域社会に対し活動をPRしていくべきかと思っています。

<点鐘>

井上久会長